

宮崎市子ども・子育て支援プラン地域子ども・子育て支援事業点検・評価表

1	利用者支援事業 (保育幼稚園課、子育て支援課、親子保健課)	・・・	P1
2	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター) (子育て支援課)	・・・	P3
3	妊婦健康診査 (親子保健課)	・・・	P7
4	乳児家庭全戸訪問事業 (親子保健課)	・・・	P9
5	養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 (子育て支援課)	・・・	P11
6	子育て短期支援事業(ショートステイ) (子育て支援課)	・・・	P13
7	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター) (子育て支援課)	・・・	P15
8- (1)	一時預かり事業(幼稚園) (保育幼稚園課)	・・・	P17
8- (2)	一時預かり事業(その他) (保育幼稚園課、子育て支援課)	・・・	P19
9	延長保育事業 (保育幼稚園課)	・・・	P23
10	病児保育事業 (保育幼稚園課)	・・・	P25
11	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) (生涯学習課)	・・・	P27

1 利用者支援事業

事業内容

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業などの情報提供および必要に応じた相談・助言などを行うとともに、関係機関との連絡調整などを実施します。

なお、対応する職員を医療・教育・保育施設などで従事することができる資格を有している者などとし、子育て家庭の「個別ニーズ」の把握、施設や各種事業などの情報提供、利用支援・援助を行います。また、地域の関係機関と連絡調整、連携体制づくりを行い、地域での子育て支援体制強化に取り組みます。

平成31(令和元)年度の実績状況

○実施内容・達成状況

- ・みやざき子育て支援センター、高岡地域子育て支援センターに加え、佐土原地域子育て支援センター、清武地域子育て支援センターにおいても専任の子育て支援員を配置し、利用者支援事業を実施しました。
- ・保育幼稚園課窓口にて子育て支援員を配置し、保護者からの相談に応じるとともに、それぞれのニーズにあった教育・保育施設や子育て支援サービス等を提供しました。
- ・各保健センターに分散配置していた母子保健コーディネーターを集約し、北部(宮崎市保健所内)と南部(清武総合支所内)に設置した「産前産後サポート室(子育て世代包括支援センター)」に配置することで、妊産婦への切れ目のない支援の体制を強化しました。

○実施にあたっての課題

- ・相談対応機能強化、専任職員への研修等の実施による、子育て支援に関する知識の向上を図るとともに、利用者支援事業に関する広報を充実させ、関係機関との連携強化を図ることが今後の課題となっています。

需給計画 平成27年度～平成31年

(単位:か所)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績	H31 目標内訳
(A)必要な事業量の見込み	-	8	8	9	10	12	12
(B)確保方策	目標値→	3	5	9	10	12	12
	実績→	1	1	2	9	7	-
中央東・中央西・小戸	1	1	2	4	4	3	4
大宮・東大宮	0			0	0	0	0
穂	0			0	0	0	0
大淀・大塚・大塚台・生目台・小松台・赤江	0			1	1	0	1
佐土原・住吉	0			1	1	1	2
生目・北・高岡	0			1	2	1	2
木花・青島・田野・清武	0			2	2	2	3
過不足(B-A)	-	▲7	▲6	0	0	▲5	-

令和2年度の実績

- ・子育て支援員研修を実施し、利用者支援事業の担い手である子育て支援員を養成します。
- ・引き続き、タブレット端末等を活用し、利用者のニーズにあった教育・保育施設や子育て支援サービス等の情報提供に努め、包括的支援を可能にするため、関係機関との連携強化を図ります。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の進捗状況はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
この事業への取組について、ご意見をご記入ください。		

1 利用者支援事業

評価の記載について： () 内は人数、
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】 A (1人) B (6人) C (1人) D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】 A (1人) B (6人) C (1人) D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 子育て支援員の養成定員を増やしてほしい。支援の内容が分かりにくいので、施設の担当者も理解できるよう研修をお願いしたいです。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 妊産婦への切れ目ない支援は本当に必要だと思います。利用者（実際に施設等を利用する人）も大事ですが、利用に至らない人こそ支援が必要な場合が多いのではないかと思います。アウトリーチも含めて、広報の仕方なども検討していただけたらと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 妊娠中に障がい判明したときのお母さんのサポートに少しでも力になってあげられたらと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C 母子保健コーディネーターの人員増について検討を。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

2 地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)

事業内容

「地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感などを緩和するとともに育児に関する情報の把握および提供を行い、子どもの健やかな育ちを支援すること」を目的に、妊婦や乳幼児およびその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を実施します。

平成31(令和元)年度の実績状況

○実施内容・達成状況

【対象】未就学児と保護者及び妊婦

【内容】・地域子育て支援センターの開設 35か所

- ・プレイルームの開放、育児相談、親子講座、子育て支援に関する情報提供
- ・(みやざき子育て支援センター)利用者支援事業及び一時預かり事業を実施
- ・(佐土原、高岡、清武地域子育て支援センター)利用者支援事業を実施

【広報】地域子育て支援センターの設置場所や活動内容などについて子育て情報誌や市ホームページ、子育てナビ、チラシ配布など周知を行っています。また、イベント情報などは子育て支援センターのホームページや市広報、地域情報誌など随時更新しています。

○実施にあたっての課題

広く利用者の育児不安等を解消するためにも、子育て支援センターをより周知することが課題です。

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:人/月)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績内訳	H31 目標内訳
(A)必要な事業量の見込み	-	32,028	31,379	14,662	14,273	13,970	13,970
(B)確保方策							
目標値→		13,556	17,623	13,195	13,559	-	13,970
実績→	10,985	12,171	11,689	11,547	11,695	10,119	-
実施箇所数 目標		33か所	34か所	35か所	35か所	35か所	35か所
※実績	33か所	34か所	35か所	35か所	35か所	35か所	
中央	2,282	3,337	3,391	3,594	3,750	3,130	4,035
実施箇所数	5か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所
大宮	1,017	972	919	813	773	571	1,098
実施箇所数	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所
大淀・大塚	678	642	499	531	705	578	596
実施箇所数	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
檉	924	1,066	545	630	593	522	651
実施箇所数	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
赤江	1,517	1,576	1,599	1,725	1,760	1,575	1,911
実施箇所数	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所
木花	376	405	348	303	207	164	416
実施箇所数	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
青島	30	27	35	138	174	140	42
実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績内訳	H31 目標内訳
住吉	455	543	564	511	470	408	674
実施箇所数	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
生目	564	604	834	710	608	462	997
実施箇所数	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
北	134	89	86	70	55	64	103
実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
佐土原	582	680	417	447	558	711	498
実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
田野	395	377	378	346	334	259	452
実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
高岡	413	303	308	323	373	299	368
実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
清武	1,618	1,551	1,766	1,075	1,336	1,236	2,111
実施箇所数	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
過不足(B-A)	-	△ 19,857	△ 19,690	△ 3,115	△ 2,578	△ 3,851	

令和2年度の取組

・引き続き35か所の地域子育て支援センターで子育て親子に交流の場を提供すると共に、相談機能を活用し、育児不安等の解消を図ります。

・地域子育て支援センターに関する広報を行い、利用促進を図ります。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の進捗状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
この事業への取組について、ご意見をご記入ください。		

2 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）

評価の記載について：（ ）内は人数、
 順調である=A、どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A（2人） B（6人） C（0人） D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 子育ての地域拠点である子育て支援センターの役割は大きいと思います。コロナ禍を、これまでにない新しい支援の形を考える機会としてほしいです。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 子育て支援センター周知拡大のため、小児科病院、幼稚園、保育所等へのチラシ配布などを検討していただきたい。</p>
<p>【第一期支援プラン】</p> <p>A（1人） B（7人） C（0人） D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 産後の大変な時期に（子育て支援センターのような）初めての場所に行くことや、既に出て上がっているコミュニティの中に入ることにしんどさを感じる人も少なくないと思います。</p> <p>外に出ていくことが苦手、困難な人、大勢の中が苦手な人などへのこのような場、相談機能、育児不安を解消できる方法があればいいと思います。デジタル化も含めて安心できる場の提供を検討していただきたい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 子育て支援センターは、兄弟がいる家庭は利用すると思いますが、障がい児をもつ保護者だと他人の目が気になり利用したくない人も多くいると思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 利用される方は頻回に利用していると考えますが、この事業を知らない方も多くいらっしゃいます。利用者の実人数も大事であり、周知方法に課題があると思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 子育て支援センターについては、より多くの子育て世帯に知ってもらえるよう、更なる周知方法を検討してください。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

3 妊婦健康診査

事業内容

妊婦の健康の保持・増進および疾病の早期発見のため、医療機関および助産所で、妊婦に必要な検査・計測・保健指導を実施します。
妊婦健康診査にかかる費用については、妊娠届出の際に妊婦健康診査助成券を交付し、助成を行います。

平成31(令和元)年度の取組状況

○実施内容・達成状況

妊娠届出の際に、あわせて14回分の妊婦健康診査助成券を交付しており、助成券を利用して県内の委託医療機関および助産所(5施設※令和2年4月からは4施設)において一部自己負担で受診できます。また、県外の医療機関で妊婦健康診査を受診した際にも、受診後に申請することで補助を行っています。

○実施にあたっての課題

妊娠後期の届出や、妊婦健康診査未受診のまま分娩に至るケースがあり、安心して妊娠・出産を迎えるための健診の重要性について啓発が求められています。

需給計画 平成27年度～平成31年

(単位:人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 目標・実績
(A)必要な事業量の見込み	-	5,731	5,611	5,489	5,372	5,274
(B)確保方策	(受診者数) 目標値→	5,731	5,611	5,489	5,372	5,274
	実績→	5,741	5,585	5,510	5,351	4,973
確保体制	実施場所	25か所				
	検査項目	17項目				
	実施時期	通年				
過不足(B-A)	-	△ 146	△ 101	△ 138	△ 349	△ 301

令和2年度の取組

- 従来どおり、地域において安全・安心に妊娠し出産できる環境づくりを推進し、健診の重要性について啓発を行い、未受診者の解消に努めます。
- 平成28年度から導入された子宮頸がん検診とHPV検査(対象年齢のみ)について、一層の周知に努めます。また、医師会や関係機関等と連携し、健診の重要性について啓発を行い、受診率の向上に努めていきます
- 平成31年度から非課税世帯または生活保護世帯を対象に14回の全ての健診を無料化し、妊娠・出産にかかる経済的不安の軽減を図っており、今年度も無料化を継続します。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況 はいかがでしょうか	()順調である ()あまり順調でない	()どちらかといえば順調である ()順調でない
第一期支援プラン期間の事業の 進捗状況はいかがでしょうか	()順調である ()あまり順調でない	()どちらかといえば順調である ()順調でない
この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。		

3 妊婦健康診査事業

評価の記載について： () 内は人数、
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】 A (2人) B (5人) C (1人) D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】 A (2人) B (5人) C (1人) D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A 助成や低所得者への無料化は素晴らしい取組だと思います。未受診の背景は多様ではあると思うが、妊娠してからではなく、早期から(中高生など)性教育を充実させ、その中で宮崎市の取組みとして案内していくことも必要ではないかと思います。 自分で申請して母子手帳交付がないと、行政として拾うことができないという課題は、他に方法が無いか検討していただければと思います。</p> <p><input type="checkbox"/> B 健診の重要性の啓発に、様々な広報媒体を活用するようご検討ください。</p> <p><input type="checkbox"/> B 14回中1回でも利用していれば実績に反映されるところで、せめて半分以上の利用を反映することとしてはどうかと思いました。</p> <p><input type="checkbox"/> B 全体的には順調だと思いますが、妊婦健診は母親と子どもの命を守るスタートラインです。一人でも多くの妊婦が受診するよう事業に取り組んでください。</p> <p><input type="checkbox"/> C 必要な事業量の見込みが減っているのに対し、実績にともなう不足数が増えていることにより、啓発を含む取組みが必要と評価しました。また、母子保健の観点からは、思いがけない妊娠について、もっと施策を検討すべきと考えます。</p>

注) A~Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

4 乳児家庭全戸訪問事業

事業内容

生後4か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭を、事業専任看護師、または母子訪問指導員などが訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境などの把握を行います。
また、訪問時に子育て情報誌などを配布し、子育てに関する情報提供や予防接種の勧奨、民生委員・児童委員および地区担当保健師などの相談窓口を紹介します。さらに、母子訪問指導員の研修を実施し、資質向上を図ります。

平成31(令和元)年度の実績

○実施内容・達成状況

本事業は、平成20年8月から市内13地区で民生委員・児童委員の協力のもと事業開始し、平成23年3月から市内全域に拡大しています。

平成25年度からは、母子訪問指導事業(保健師・助産師の訪問)と事業専任看護師等が訪問し、子育て情報誌などを配布しながら相談に応じ、必要に応じて地区担当保健師などが相談・支援を継続しています。平成31年度に事業専任看護師が把握した「要支援者」は10人でした。

○実施にあたっての課題

訪問しても不在、電話連絡もつかないという世帯があり、効果的な訪問および訪問実施率の向上が今後の課題となっています。

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 目標・実績	
(A)必要な事業量の見込み	-	3,572	3,500	3,427	3,352	3,281	
(B)確保方策	目標値→		3,572	3,500	3,427	3,352	3,281
	実績→	3,332	3,362	3,425	3,497	3,388	3,183
実施体制	嘱託訪問指導員 3人						
過不足(B-A)		△ 210	△ 75	70	36	△ 98	

令和2年度の実績

訪問しても不在という世帯については、予防接種や乳児健診の受診状況等を把握した上で、地域保健課や子育て支援課と連携し、乳児の所在確認に努めます。

感染拡大防止の取り組みとして、厚生労働省の指針に基づき訪問を実施しています。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況 はいかがでしょうか	()順調である ()あまり順調でない	()どちらかといえば順調である ()順調でない
第一期支援プラン期間の事業の 進捗状況はいかがでしょうか	()順調である ()あまり順調でない	()どちらかといえば順調である ()順調でない
この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。		

4 乳児家庭全戸訪問事業

評価の記載について： () 内は人数、
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A (1人)</p> <p>B (6人)</p> <p>C (1人)</p> <p>D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】</p> <p>A (1人)</p> <p>B (6人)</p> <p>C (1人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A 周りに障がい児を持つ知り合いなどがいない場合、お母さんが悩みを抱え込んでしまいがちになると思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 切れ目ない支援の必要な親子の存在をいつまで誰が責任を持っていくのか連携をしっかりとしてほしい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 課題の部分についての対策は急務でないかと思います。様々な事情で行政機関が苦手な人などいると思います。地域の力（民生・児童委員、自治会、子ども会など）を利用して地域で守り支えるといった取組みもこれからは必要ではないかと思います。地域の希薄化がもたらす社会問題は増えているように感じています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 何年かに一度でも利用者のアンケートをとってみると良いのではないのでしょうか。指導員の研修などでも役立つと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 当事業は民生・児童委員の活用についても検討してほしい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 他の委員の意見にもありましたが、各団体との協働が重要になってくると思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C 訪問時不在やアポイントが取れない状況は理解できますが、H29、H30は実績が目標値を上回っているのに対し、逆にH31は実績が目標を下回っていると評価しました。この事業はリスクを察知する上でも、非常に重要だと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

5 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

事業内容

要保護児童対策地域協議会(子どもを守る地域ネットワーク)の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員(関係機関)の専門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を図る取り組みを実施します。
また、市内に居住する若年の妊婦および妊婦健康診査未受診などの妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする家庭のほか、出産後の間もない時期(概ね1年程度)の養育者が育児ストレスなどの問題によって、子育てに対して強い不安を抱える家庭などを対象に、保健師や保育士などが家庭訪問を実施し指導や助言を行います。

平成31(令和元)年度の実施状況

○実施内容・達成状況

1 要保護児童対策地域協議会(子どもを守る地域ネットワーク)
要保護児童対策地域協議会の事務局を子育て支援課に設置し、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議の開催や研修会を実施しました。

2 養育支援訪問事業

子育て支援課の保健師、保育士などが家庭訪問し、適切な養育が行えるようになるための専門的な相談・支援を実施しました。また、訪問支援者の資質向上を図るための研修会を実施しました。

《養育支援訪問対象者》

(1) 出産後間もない時期(おおむね1年程度)の養育者で、助産師及び保健師が家庭訪問した際に、特に養育支援が必要と感じた世帯。

(2) 出産後の養育について、出産前において特に支援が必要と認められる妊婦(特定妊婦)

○実施にあたっての課題

1 関係機関の相互理解と、早急に連携して対応するためのマニュアルの作成

2 養育支援対象者の抽出

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位：世帯、人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 目標・実績
(A) 必要な事業量の見込み	-	16	18	18	18	18
(B) 確保方策(訪問世帯数)	目標値→		4	18	18	18
	実績→	8	16	10	15	10
実施体制(担当職員数)	目標値→	9	10	11	12	12
	実績→	9	9	11	12	12
過不足(B-A)		△12	△8	△3	△4	△8

令和2年度の実施状況

1 保育園、幼稚園、小学校、中学校、地区民生委員・児童委員協議会等へ出前講座を実施したり、要保護児童対策地域協議会関係機関に向けた研修会を実施することで、専門性と連携の強化に努めます。代表者会議、関係機関連絡会議にて要保護児童対策地域協議会についての協議や関係機関との情報交換を行い、連携の強化に努めます。また、必要に応じて個別ケース検討会議を開催し、関係機関と要保護児童への支援・対応を話し合います。

2 保健センター等、関係職種向けに研修を実施し、専門性の強化と連携した対応に努めます。また、育児・家事支援の実施について検討します。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況 はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の 進捗状況はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。		

5 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

評価の記載について： () 内は人数、
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A (2人)</p> <p>B (5人)</p> <p>C (1人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A 要対協に名前があがる家庭は、指導されることが苦手な家庭も多い傾向にあると思います。R2年度の取組の中で、育児・家事支援の実施について検討とあり、このような支援は受けやすいのではないかと思います。このあたりを利用して家庭に入って行くのはとても良い取組だと思いました。地域との連携強化も素晴らしい取組みだと思います。</p>
<p>【第一期支援プラン】</p> <p>A (2人)</p> <p>B (5人)</p> <p>C (1人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 乳児家庭全戸訪問事業と同様に、各団体との協働を更に進めていただきたい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 障がい児の保護者は育児ストレスが多いと聞きます。うまく親子をサポートできたらと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 出前講座については、どのような内容で行っているのかもっと周知してほしい。自分の所属する団体でも講座開催を計画していきたい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C 対象世帯（訪問世帯数の実績）が少ないように感じます。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

6 子育て短期支援事業(ショートステイ)

事業内容

保護者の疾病などの理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童福祉施設において必要な養育・保護を行う事業で、市内に住所を有し、保護者が病気や仕事などにより一時的に子育てが困難となった場合で、他に養育する方がいない家庭の児童(生後3か月から18歳未満)を、原則7日間児童福祉施設で預かることで、その家庭への子育て支援を図ります。

平成31(令和元)年度の実績状況

○実施内容・達成状況

【対象】 市内に住所を有し、保護者の疾病等の理由により、一時的に家庭において養育を受けることが困難になった児童(生後3か月から18歳未満)

【期間】 上半期及び下半期にそれぞれ原則7日以内(平成28年度より、利用制限を1年から半期ごとに緩和)

【実施施設】 社会福祉法人 カリタスの園 乳児院 つぼみの寮
 社会福祉法人 宮崎福祉会 みんなの園
 社会福祉法人 再生会 さくら学園
 社会福祉法人 宮崎県社会福祉事業団 青島学園
 社会福祉法人 成就会 ファミリーホームひまわり

○実施にあたっての課題

乳児を預かる施設が1か所しかないため、感染症が流行する時期等に乳児の受け入れが難しくなること

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:日/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 目標・実績
(A)必要な事業量の見込み	-	1,579	1,561	360	356	353
(B)確保方策(利用延日数) 目標値→		411	677	360	356	353
実績→	121	214	158	187	213	288
過不足(B-A)		△ 1,365	△ 1,403	△ 173	△ 143	△ 65

令和2年度の実績

制度の利用促進を図るために、事業の周知に努めます。

1歳未満児の預け先として、委託先施設があらかじめ登録した里親等に再委託することが認められているため、里親委託の実施に向けて検討します。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況 はいかがでしょうか	()順調である ()あまり順調でない	()どちらかといえば順調である ()順調でない
第一期支援プラン期間の事業の 進捗状況はいかがでしょうか	()順調である ()あまり順調でない	()どちらかといえば順調である ()順調でない
この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。		

6 子育て短期支援事業（ショートステイ）

評価の記載について：（ ）内は人数、
 順調である=A、どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】 A（0人） B（6人） C（2人） D（0人）</p> <p>【第一期支援プラン】 A（0人） B（7人） C（1人） D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 乳児の受け入れが難しかった場合、その子どもの対応をどうしているのか気になりました。里親委託についても早急に対応していただきたいと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 乳児受け入れ施設の増加をお願いします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 受託先の確保が急務かと思えます。里親のマッチング困難や里親登録の少なさなどもあるかと思えますが、保護者以外の子どもの養育は施設が主である日本の現状から、もっと地域、民間への委託も考えていかなければならない問題なのかと思えます。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 乳児の預け先が1か所というのは厳しい。せめて市内の東西南北に1か所は設置するよう取り組んでほしいと思いました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C 母子家庭の方などが、万が一に備え、うまく活用できるようにしてもらいたいと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

7 子育て援助活動支援事業(ファミリーサポートセンター) 《対象:就学児(小学生)》

事業内容

小学生の児童を有する子育て中の保護者で、児童の預かりなどの援助を受けることを希望する者(依頼会員)と、当該援助を行うことを希望する者(援助会員)を会員として、その会員間の連絡・調整を行う事業です。学校の迎えや帰宅後の預かりなどの育児援助活動を行うことにより、子育て中の保護者が仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行います。

平成31(令和元)年度の実績状況

○実施内容・達成状況

依頼会員のニーズに柔軟に対応するため、援助会員の確保が必要であることから、事業の周知に努めるとともに、活動推進協力者の育成および研修・交流会を充実させるなどの取組を行った。

また、地域の元気な高齢者に、子育て支援の意識を醸成するために、宮崎市老人クラブ連合会(さんさんクラブ宮崎市)と連携し、概ね60歳以上を対象にした育児援助者養成講習会(市内2会場)を実施した。

○実施にあたっての課題

ファミリーサポートセンター活動の更なる周知と、高齢の援助会員が活動しやすい環境の整備が必要である。

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績	H31 目標値内訳
(A)必要な事業量の見込み	-	1,175	1,185	746	765	777	777
(B)確保方策							
目標値→		1,175	1,185	746	765	-	777
実績→	1,423	1,175	727	1,364	1,229	1,767	-
中央北	683	546	538	504	439	463	571
中央南	450	313	15	77	379	400	16
赤江	19	72	84	295	11	424	90
木花	206	153	52	0	0	17	56
青島	0	0	4	5	0	30	4
住吉	47	3	4	18	5	17	4
生目	0	0	0	323	94	0	1
北	0	0	2	27	136	257	2
佐土原	8	2	0	28	57	59	1
田野	0	23	0	0	1	0	1
高岡	10	0	0	0	0	0	1
清武	0	63	28	87	107	100	30
過不足(B-A)	-	0	△458	618	464	990	

令和2年度の実績

ファミリーサポートセンター活動の活性化に向けて、援助活動場所の拡大や、利用申請時のウェブ活用など、さらに利便性が高まる仕組みづくりを検討します。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の進捗状況はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
この事業への取組について、ご意見をご記入ください。		

7 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

評価の記載について：（ ）内は人数、
 順調である=A、どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】 A（4人） B（3人） C（1人） D（0人）</p> <p>【第一期支援プラン】 A（4人） B（3人） C（1人） D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A 援助会員を増やすために養成講座の回数を増やしたり、地域別に実施できたりした取組みは良かったと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 育児援助養成講習会は良い取組みなので今後も継続をお願いします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 各種支援が行われているのは嬉しいことではあるが、一つの事業が市民に分かりやすく、利便性の高いものとなる仕組みづくりに取り組んでいただきたい。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

8-(1) 一時預かり事業(幼稚園)

事業内容

教育標準時間認定を受けた幼児について、幼稚園において教育標準時間終了後に引き続き預かり、必要な保育を行う事業です。

在園児について、認定こども園および幼稚園で受け入れることにより、広く子育て世帯の支援を図るものです。

平成31(令和元)年度 of 取組状況

○実施内容・達成状況

教育標準時間認定を受けた幼児について、幼稚園及び認定こども園において教育標準時間修了後に引き続き預かり、必要な保育を行う事業です。

○実施場所

認定こども園、私立幼稚園

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績	H31 目標値内訳
(A)必要な事業量の見込み	-	215,489	214,821	265,527	263,582	259,198	259,198
(B)確保方策							
目標値→		215,489	214,821	265,527	263,582	-	259,198
実績→	0	237,777	265,527	278,772	308,943	348,927	-
中央	0	41,803	56,536	46,824	57,940	54,665	51,839
大宮	0	33,867	25,539	28,812	30,420	31,212	25,919
大淀・大塚	0	28,730	31,586	18,949	21,851	39,144	31,104
橿	0	14,134	13,407	17,894	26,988	33,148	12,960
赤江	0	37,138	48,090	66,342	70,328	62,740	46,656
木花	0	1,598	2,030	1,969	2,167	6,441	2,592
青島	0	6,055	5,909	4,457	3,422	2,476	5,184
住吉	0	10,172	15,345	12,318	12,623	12,423	15,552
生目	0	5,255	2,239	9,592	8,701	9,512	2,592
北	0	0	0	3,221	3,792	6,493	2,592
佐土原	0	24,060	19,408	30,693	35,432	55,328	18,144
田野	0	16,504	18,880	19,144	9,948	8,589	18,144
高岡	0	5,280	6,808	4,308	8,590	7,963	7,776
清武	0	13,181	19,750	14,249	16,741	18,793	18,144
過不足(B-A)		22,288	50,706	13,245	45,361	89,729	

令和2年度の取組

市内の認定こども園及び私立幼稚園における幼稚園型一時預かり事業について、引き続き推進に努めます。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況 はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の 進捗状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。		

8-(1) 一時預かり事業（幼稚園）

評価の記載について：（ ）内は人数、
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】 A（5人） B（3人） C（0人） D（0人）</p> <p>【第一期支援プラン】 A（5人） B（3人） C（0人） D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A 計画目標に対する実績については、充分だと思いました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 保育士の先生らの労働環境改善（労働時間の短縮、賃金アップ）について支援していただきたいと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 重度の障がい児を預かれるところが少ないので、そういったところにも対処していただきたいと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

事業内容

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主に昼間に保育所や子育て支援拠点やその他の場所で、乳幼児を一時的に預かり、必要な保育を行う事業です。
保護者の就労の有無に関わらず、育児疲れの解消や急病などで一時的に乳幼児を受け入れることにより、広く子育て世帯の支援を図ります。

平成31(令和元)年度の実績状況

○〔平成29年度末状況〕実施数

保育所: 80か所、認定こども園: 35か所、小規模保育施設: 4か所、
事業所内小規模保育施設: 1か所、私立幼稚園: 4か所

○実施内容・達成状況

【実施場所】 保育所、認定こども園、私立幼稚園、ファミリー・サポート・センターなど

【対象児童】

- ・保護者の就労、傷病などにより緊急かつ一時的に家庭における保育が困難な児童
- ・保護者の心理的又は肉体的負担を解消するための一時保育が必要とされる児童

○実施にあたっての課題

- ・一時預かり事業においては、保育所等の近年の入所児童数の増加及び保育士不足により、特に年度の後半で一時預かりを希望しても利用できない施設があります。
- ・ファミリー・サポート・センター事業においては、依頼会員の依頼内容が多様化し、十分対応できない状況があります。

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績	H31 目標内訳	
(A)必要な事業量の見込み	-	87,334	85,560	83,832	34,128	33,387	33,387	
(B)確保方策								
目標値→		68,678	71,589	35,089	34,128	-	33,387	
実績→	33,661	32,549	29,095	31,006	24,951	19,602	-	
中央	一時預かり	3,773	3,468	2,817	3,760	3,699	2,919	3,268
	子育て援助活動	281	367	459	603	684	949	488
大宮	一時預かり	1,654	1,138	1,039	1,245	589	366	1,207
	子育て援助活動	104	99	190	365	102	148	203
大淀・大塚	一時預かり	4,797	5,524	3,713	3,931	4,293	3,364	4,270
	子育て援助活動	162	99	127	75	84	57	136
檜	一時預かり	2,681	2,352	1,967	2,982	1,651	1,381	2,263
	子育て援助活動	116	89	75	91	133	43	80
赤江	一時預かり	4,323	5,797	3,597	5,588	3,675	2,729	4,149
	子育て援助活動	109	552	264	324	11	284	282
木花	一時預かり	1,573	1,220	1,088	1,214	870	660	1,248
	子育て援助活動	4	33	1	0	0	33	1

年度		H26	H27	H28	H29	H30	H31実績	H31目標
青島	一時預かり	67	2	46	41	25	5	53
	子育て援助活動	0	0	0	3	0	0	1
住吉	一時預かり	769	1,251	1,286	1,078	914	603	1,484
	子育て援助活動	1	4	100	57	5	34	107
生目	一時預かり	298	352	2,490	2,051	1,939	1,132	2,895
	子育て援助活動	218	314	480	35	94	7	513
北	一時預かり	363	574	777	378	350	246	892
	子育て援助活動	0	0	0	27	136	0	1
佐土原	一時預かり	2,008	3,030	3,037	1,125	980	737	3,499
	子育て援助活動	55	54	183	14	57	25	196
田野	一時預かり	6,078	1,946	1,671	2,089	1,601	1,209	1,918
	子育て援助活動	43	0	0	0	1	0	1
高岡	一時預かり	1,025	1,063	1,016	918	479	723	1,166
	子育て援助活動	3	3	1	0	0	8	1
清武	一時預かり	3,041	3,159	2,622	2,938	2,472	1,861	3,013
	子育て援助活動	115	59	49	74	107	79	52
過不足(B-A)		-	△ 54,785	△ 56,465	△ 48,743	△ 9,177	△ 13,785	

令和2年度の取組

○ファミリー・サポート・センター活動の活性化に向けて、援助活動場所の拡大や、利用申請時のウェブ活用など、さらに利便性が高まる仕組みづくりを検討します。

○一時預かり事業に取り組む私立幼稚園や認定こども園の拡大を図り、利用者の利便性の向上に努めます。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の進捗状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
この事業への取組について、ご意見をご記入ください。		

8-(2) 一時預かり事業（その他）

評価の記載について：（ ）内は人数、
 順調である=A、どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A（3人） B（5人） C（0人） D（0人）</p> <p>【第一期支援プラン】</p> <p>A（3人） B（5人） C（0人） D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 一時預かり事業（幼稚園）と同様に、保育士の労働環境改善の支援をお願いします。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

9 延長保育事業

事業内容

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日や利用時間以外の日や時間に、認定こども園、保育所などにおいて保育を実施する事業です。

保護者の就労形態の多様化などにともない、保育時間延長の需要に対応するため、11時間の開所時間の前後にさらに1～7時間の延長保育を実施します。

平成31(令和元)年度 of 取組状

○実施内容・達成状況

保育認定を受けた児童について、通常の保育時間以外に、認定こども園、保育所などにおいて保育を実施する事業です。

○実施施設数

公立保育所、私立保育所、認定こども園、小規模保育施設

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績	H31 目標内訳
(A)必要な事業量の見込み	-	3,505	3,463	2,527	2,483	2,436	2,436
(B)確保方策							
目標値→		3,505	3,463	2,527	2,483	-	2,436
実績→	2,824	2,408	2,312	2,317	2,532	2,299	-
中央	525	465	448	440	500	492	473
大宮	190	188	162	141	118	104	230
大淀・大塚	325	252	241	251	260	237	342
橿	225	212	212	218	247	229	301
赤江	546	488	501	485	592	517	710
木花	64	48	36	37	36	39	51
青島	12	2	2	0	0	0	3
住吉	103	96	82	95	99	87	116
生目	152	97	97	88	78	63	138
北	35	37	30	31	43	45	43
佐土原	207	164	158	147	132	106	224
田野	195	155	135	160	155	150	191
高岡	121	109	102	101	94	86	145
清武	124	95	106	123	178	144	150
過不足(B-A)	0	△ 1,097	△ 1,151	△ 210	49	△ 137	

令和2年度の取組

○公立保育所(5ヶ所)、私立保育所(77ヶ所)における延長保育事業について、引き続き推進に努めます。

○認定こども園(66ヶ所)、小規模保育施設(A型:9施設、事業所内:2施設)においても事業を推進します。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況 はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の 進捗状況はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。		

9 延長保育事業

評価の記載について： () 内は人数、
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】 A (4人) B (4人) C (0人) D (0人)</p> <p>【第一期支援プラン】 A (4人) B (4人) C (0人) D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 実施にあたっての課題にもあるとおり、一時預かりを希望しても保育士不足で利用できない施設があるようです。保育士不足の解消のため、労働環境の改善（労働時間の短縮、賃金アップ）も推進していただきたいと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。

□で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

10 病児保育事業

事業内容

病児や病気の「回復期」にあつて保育所などに通所できない児童に対して、保育所、病院などに付設された専用スペースにおいて一時的に預かる事業です。
事業の実施により、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、感染症などの重症化を防ぎ、児童が心身ともに健やかに成長することを図ります。

平成31(令和元)年度の実施状況

○実施施設 6施設

○実施内容

【対象】病児・病後児保育事業を実施する病院、保育所等

【手段】病児・病後児保育事業に係る経費の一部を補助します。

病児回復期の児童(小学校6年生まで)が、集団保育や家庭での保育が困難な時期に、当該児童を看護師や保育士がいる専用施設内で一時的に預かります。

○実施にあつての課題

病中や病児回復期に施設を利用したい子どもが、時期によっては定員制限などにより利用できない場合があります。

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績内訳	H31 目標内訳
(A)必要な事業量の見込み	-	17,085	16,888	4,109	4,037	3,954	3,954
(B)確保方策							
目標値→		8,134	9,657	4,108	4,037	-	3,954
実績→	3,350	3,462	3,417	3,491	3,177	3,420	-
中央・大宮・北	847	880	915	921	851	1,023	1,059
大塚・大淀・生目・高岡	522	526	568	452	474	303	657
橿	680	686	615	712	638	605	712
赤江・木花・青島	613	636	608	600	476	453	704
住吉・佐土原	286	365	432	557	470	633	500
田野・清武	402	369	279	249	268	403	323
過不足(B-A)		△ 8,951	△ 7,231	△ 618	△ 860	△ 534	

令和2年度の実施

○小学生の保護者への事業の周知を行います。

○市内の小児科及び耳鼻咽喉科の医療機関に、病児保育事業のパンフレットを設置します。

○利用希望が多い時期に、施設側が定員を超えて受け入れできる体制を整備するよう依頼します。

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況 はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の 進捗状況はいかがでしょうか	() 順調である () あまり順調でない	() どちらかといえば順調である () 順調でない
この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。		

10 病児保育事業

評価の記載について： () 内は人数、
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A (1人)</p> <p>B (5人)</p> <p>C (2人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 病児保育を依頼する際に、朝診察を受けることが原則（場合によっては前日夕方の診察）で、現症届を医師に記載していただいているから登園になります。朝から診察の順番待ち、その後の保育依頼まで時間がかかります。デジタル化に伴いオンライン診療なども検討していただけるとありがたいです。様々な問題があると思いますが、他県での事例も参考に検討していただくことを期待しています。</p>
<p>【第一期支援プラン】</p> <p>A (1人)</p> <p>B (5人)</p> <p>C (2人)</p> <p>D (0人)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> B 利用希望が多い時期の施設側への支援もお願いします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C 委託先となる病院をもう少し増やし、身近な支援になると良いと思いました。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。

1 1 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

事業内容

就労などにより昼間家庭に保護者がいない世帯で小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や土曜日、夏休みなどの長期休業日に小学校の余裕教室、児童館などを利用して適切な遊びおよび生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。

平成31(令和元)年度の取組状況

○実施内容・達成状況

放課後児童クラブ設置数:52か所

登録児童数:4,134人

待機児童数: 76人(R1.5.1現在)

学校内の施設や学校外の民間施設を整備し(5箇所)、合計116人の定員増を図りました。

○実施にあたっての課題

児童クラブの待機児童数が多い学校では、児童数の増に伴い教室が不足しており、児童クラブとして利用可能な教室の確保が困難となっています。

需給計画 平成27年度～平成31年度

(単位:人/年)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31 実績内訳	H31 目標内訳	
(A) 必要な事業量の見込み	-	3,604	3,642	3,744	4,069	4,228	4,228	
(B) 確保方策	目標値→		3,086	3,231	3,493	3,827	-	4,028
	実績→	2,869	3,139	3,319	3,493	3,642	4,134	-
中央	298	328	367	351	415	443	405	
大宮	314	336	363	395	399	467	455	
大淀・大塚	490	504	550	612	596	646	706	
檜	311	347	322	409	418	481	472	
赤江	435	479	471	484	477	551	558	
木花	76	86	83	72	86	101	83	
青島	21	35	35	10	16	27	12	
住吉	172	189	190	193	190	236	223	
生目	42	47	47	44	47	70	51	
北	65	75	102	127	127	131	146	
佐土原	293	328	346	356	402	463	411	
田野	48	45	58	60	55	61	69	
高岡	52	67	102	118	127	132	136	
清武	252	273	283	262	287	325	301	
過不足(B-A)		△ 465	△ 323	△ 251	△ 427	△ 94		

令和2年度の取組

恒常的な待機児童解消のため、住吉南・檜・潮見児童クラブにおいて、学校内の施設や学校外の民間施設などの整備を行い、合計94人の定員拡大を図る予定です。

【定員拡大予定数】

住吉南:38人増、檜:20人増、潮見:36人増

点検・評価

平成31年度の事業の進捗状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
第一期支援プラン期間の事業の進捗状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
この事業への取組について、ご意見をご記入ください。		

1.1 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

評価の記載について：（ ）内は人数、
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>【平成31年度】</p> <p>A（5人） B（3人） C（0人） D（0人）</p> <p>【第一期支援プラン】</p> <p>A（5人） B（3人） C（0人） D（0人）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A 順調に定員拡大を実施されてきたと思います。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A 曜日ごとで受入れることにしたことで過不足が解消されたことは、素晴らしい成果だと思います。</p> <p><input type="checkbox"/> B 今後、少人数学級制への移行も考えられるので、空き教室はより少なくなるのではと考えます。教育委員会など他部署との連携によりクラブ教室の確保をお願いします。</p> <p><input type="checkbox"/> B ニーズに応じるため定員増には取り組まれていますが、年齢が上がると利用できないなど、まだ足りていないという印象があります。引き続き充実を図ってほしいと思います。</p>

注) A～Dを□で囲んでいる意見は、点検・評価表に記載されたもの。
 □で囲んでいない意見は会議中に発言されたもの。